

# だんだん

放送大学島根学習センター  
149号

2025年10月発行



〒690-0061

松江市白鷺本町 43 スティックビル 4 階  
☎0852-28-5500 fax0852-28-1800  
✉ shimane-sc@ouj.ac.jp



- ◆客員教員紹介、客員教員の「談・談」 . . . . . 2～3
- ◆行事の報告 . . . . . 4～9
- ◆行事の案内 . . . . . 10
- ◆お知らせ . . . . . 11～22
- ◆島根同窓会通信・学友会だより・サークル案内 . . . 22～23
- ◆スケジュール（10・11・12月） . . . . . 24



# 客員教員紹介

2025年度在籍の、客員教員をご紹介します。

①現職等 ②専門分野 (五十音順)

	<p><b>安齋有紀 客員准教授</b></p> <p>① 島根大学准教授 ② フランス語学</p>	<p>私たちが日常的に行なっている「対話」という言語活動に関心を持ち、フランス語と日本語を対照しながら、音声によるコミュニケーションに観察される様々な言語現象に着目した「話し言葉」の研究をしています。本務校の島根大学では、フランス語・文化関連の授業を中心に行なっていますが、言語文化圏によってなぜ「ことば」の使い方が異なるのか、複数の言語を対照することでそれぞれの言語の特徴がどのように見えてくるのかなど、「ことば」に関する素朴な疑問について学生とともに考えながら、対照言語学の面白さを伝えようと日々取り組んでいます。島根学習センターでは、フランスの文化や言語の魅力を楽しくお伝えしていきたいと思っています。</p>
	<p><b>大谷修司 客員教授</b></p> <p>① 島根大学名誉教授 ② 植物分類学</p>	<p>このたび4月から客員教員として勤めることになりました大谷修司と申します。よろしくお願ひします。昨年までは島根大学教育学部で生物学を担当していました。</p> <p>研究対象は顕微鏡的サイズの水田のミカツキモや湖沼の植物プランクトンなどで、大きさや形から種の名前をつけたり、藻類を試験管の中で培養して生活環の研究をしてきました。島根大学の生物学演習では島根大学構内の植物観察を毎週実施し、生物学実験の材料はできるかぎり島根大学構内から採集しました。放送大学のゼミでは皆さんと放送大学周辺で植物を採集してそれらの花や葉の構造を、眼、ルーペや実体顕微鏡で観察したいと考えています。いっしょに楽しく学習や研究を進めていきましょう。</p>
	<p><b>千代章一郎 客員教授</b></p> <p>① 島根大学教授 ② 建築論</p>	<p>昨年度から客員教員を務めています。本務校の島根大学では、西洋建築史、日本建築史、現代建築論、都市計画論、建築都市空間論など、建築デザインについて幅広く授業をしています。研究室としては、近代建築のデザイン手法の研究に加えて、松江を対象とした研究にも取り組んでいます。最近では、松江の茶室・庭園などの実測、松江に多くの建築作品を建設した菊竹清訓の共同研究もしています。また一方で、こどもの建築教育などにも携わっています。島根学習センターでは、興味を持った建築作品について、いろいろな角度からじっくりと検証し、ディスカッションを通して、新しい「建築」の見方を発見できればと思います。</p>
	<p><b>武田信明 客員教授</b></p> <p>① 島根大学名誉教授 ② 日本近代文学</p>	<p>初めまして、今年度から客員教授をつとめる武田信明です。どうぞよろしくお願ひします。専門は、日本近代文学、分かりやすく言うなら明治から現代までの文学作品を研究しています。今回のゼミナルでは、まずは各自が読んで自由な感想を持つことを出発点とします。そして、私が「読み方」のヒントを提供しますので、これまでとは異なる様々な観点から小説を読んだり、考えたりするという体験もしていただきたいと思います。小説の読み方に正解はありません。しかも人それぞれ関心は異なります。他の人の感想を聞くことも楽しいですし、新しい読み方を知ることもし楽しいでしょう。そのような「知的」な意味で楽しい時間になりたいと思います。</p>
	<p><b>中野洋平 客員准教授</b></p> <p>① 島根県立大学准教授 ② 民俗学</p>	<p>皆さん、はじめまして。今年度から客員教員となりました中野です。信州上田で生まれ育ち、大学からは京都・滋賀、2014年から松江で暮らしています。どんどん西に移動していますね。専門は民俗学で、特定の土地に根付いた民俗の歴史や地域の特徴を探究することに興味があります。島根学習センターでは皆さんと一緒に、時には地域へ飛び出しながら、さまざまな民俗について考えていきたいと思っています。今年度のゼミでテーマにするのは、人々の営みによって形成された景観、「文化的景観」です。これを通して、人々の暮らしや歴史を紐解いていきましょう。</p>
	<p><b>村瀬俊樹 客員教授</b></p> <p>① 島根大学名誉教授 ② 心理学</p>	<p>乳幼児が、母語としての日本語を獲得する過程を中心に研究を行ってきました。また、ことばの獲得に関する日米比較研究に参加する中で、日本文化の中で形作られる「心」にも関心を持ち、他者の心を推測して自分の行動を調節する傾向がどのように形成されていくのかという研究にも取り組んでいます。放送大学で様々な年齢の方と「心」についてお話しをさせていただき、「心」に対する関心の持ち方が、これまでおもに話をしてきた20歳前後の人たちと多少異なることに気づき、新たな研究テーマを得たように思います。皆様と一緒に、人の「心」のおもしろさを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。</p>



## 野草や樹木の観察はおもしろい

客員教授 大谷 修司

私は50年前、島根県益田市の益田高校の生物部に所属していました。顧問の先生が身近な植物に大変詳しく、高校の校庭等の野草について、名前だけでなく、野草の特徴、名前の由来、利用方法、近縁種との比較などを教えていただきました。身近なすべての植物に名前があり、それぞれが特徴をもって咲き誇っていることに気づかせていただきました。

その後興味を持った私は、登下校の際、道端でみつけた野草を図鑑で名前を調べたり、スケッチをしたりするようになりました。名前を知るとこの植物は何科に属しているのか、花はいつ咲くのか、実は食べられるのかなど興味が膨らんでいきます。名前を知る前は路傍の野草が緑のかたまりに見えていましたが、名前を知るといくつもの種類が混ざり合っ、一つ一つの種類が個性を主張しており、季節によって種類が変化していることに気づきました。これまでの野草の見方が大きく変わった経験でした。また、詳細に観察すると似ている植物ほど、いくつもの違いがあることがわかってきました。たとえばソメイヨシノの葉は花が散り始めると開き、葉には細かい毛がありますが、ヤマザクラは葉と花が同時に開き、葉に毛はありません。花が散ったあとでも葉をみることでこの二種類は区別できます。私のゼミでは放送大学近くの白潟公園を中心に植物観察をしています。路傍の緑のかたまりがいくつもの種類からなることに、生徒の皆さんに気づいていただけるよう共に観察を続けていきます。



## 巨人の肩の上に立つ

客員教授 村瀬 俊樹

論文の検索をするときに Google Scholar をよく使うが、そのトップページに「巨人の肩の上に立つ」と書かれている。先人たちの力を借り、明らかにされてきたことを学ぶと、世の中が俯瞰的に見え、背後の動きも見えることの比喩だと思う。自分もそうやって先人たちに学んできたが、諸事に追われて俯瞰的に見る作業は怠りがちだった。

少し落ち着いていろいろな論文を見直してみると、20年ほど前に読んだ論文で、当時はあまり面白いとも思わなかったのに、今回はとても面白いと思うものがけっこうある。いろいろな肩の上に立つ経験をして、その論文の価値を味わえるようになったのだと思う。

ところで、私たちは子どもの時から、その時点で自分が持っている知識や力を使って世の中と関わっている。論文だけでなく、絵本や遊び道具や地域の行事も先人たちが築いてきたものだから、ある意味、子どもなりに巨人の肩の上に立って（先人たちの築いたものの力を借りて）生活し、自分を作ってきている（世の中を見る目を養ってきている）と言える。

1970年の万博で、小学生の私は、月の石にもわくわくしたが、外国館の様々な産物を見て、その国の気候との関係などを想像するのが好きだった。2025年の万博は当時のものとは違うが、私にはやはり外国館が興味深かった。ただ、今回は、その国の人たちがどういうことを拠り所とし、どういった方向に進もうとしているのかということと、その国の様々な産業を見ることが興味深かった。どのような肩の上に立つ経験をしたからかは定かではないが、博覧会の見方も変化するのだろう。楽しさの度合いは、小学生の時の方が圧倒的に高かったのだが。

# 行事の報告

## ◆ 学位記授与式 ◆

令和7年度第1学期の学位記授与式を9月28日（日）スティックビル3階放送大学島根学習センター第1講義室にて開催しました。

学位記授与式には今回卒業された8名の卒業生のうち7名の方々が出席されました。出口所長の式辞の後、来賓の島根同窓会の石川会長からご祝辞をいただきました。

卒業生を代表して松江市の桑原たえ子さんが感謝のことばを述べられ、厳粛な中にも華やかに式典が終了しました。授与式終了後、第2講義室にて同窓会主催の卒業を祝う会が開催され、卒業生からの感想や同窓会員からのねぎらいの言葉など、なごやかな雰囲気での懇談が行われました。

### 卒業生紹介

卒業生氏名等の掲載を了解された方々を五十音順に紹介します。（敬称略）

#### 教養学部教養学科卒業

飯塚 裕子 【自然と環境コース】  
伊瀬 孝子 【社会と産業コース】  
玉木 愛 【生活と福祉コース】  
岡本 克己 【人間と文化コース】

中川 映子 【生活と福祉コース】  
桑原 たえ子 【生活と福祉コース】  
堀江 寿彦 【社会と産業コース】



## 卒業生代表あいさつ



教養学部教養学科 生活と福祉コース  
桑原 たえ子

吹く風に秋の気配を感じるようになりました。

この良き日に私たちのために「学位記授与式」を開催していただき誠にありがとうございます。

ご多用のところ、ご来賓の皆様、島根学習センターの皆様にご臨席を賜り卒業生一同を代表して厚くお礼を申し上げます。

放送大学は、様々な境遇の人でも誰もが教養を深めたり、目的や時間に応じて自由に学習することが出来る、素晴らしい教育機関であります。

私は鍼灸師の仕事をしておりますが、本学に入りたかったのは、施術中のお客様との会話の中で、教養や知識、心理学など自身の勉強の足りなさを痛感し、もう少し幅広く学んでみたいと思うようになったことが、きっかけです。

私が選んだのは「生活と福祉コース」です。生活の中で現実に直面する問題を解決するうえで、とても参考になりました。面接授業では、障害の理解と支援、特別支援教育、薬の効く仕組みなど、とても勉強になりました。興味のある科目の日程が重なって、残念なことたくさんありました。

また、生理学や臨床心理学関係の科目などは、鍼灸師になるため20年前に学習したことの復習の機会となり、勉強する楽しさもよみがえりました。

私は今でも自宅で仕事をしておりますが、卒業を迎えるまでに7年の月日が経ちました。その間、コロナ禍での休業、膝の手術、2週間の間に立て続けに母と息子を亡くすなど、2年間立ち直ることができずにいました。でも放送大学の単位認定試験の期限などが差し迫り、勉強しなければと思うことで、気力がわきはじめ、少しずつ元気になってきました。

残された私にできることは、命ある限り学び続け、「礼をつくす」こと。一人でも多くの人たちや若い人たちに伝えられることを伝え、社会のために出来る事をする。（気持ちよく）（やる気）（元気）をモットーにして行きたいと思います。

そして、今年は戦後80年、ウクライナやガザ地区など厳しい状況が続いていますが、一日でも早く皆がよい暮らしになるように、世界が平和になることを願っています。

最後になりましたが、ご臨席の皆様、在学生の皆様並びに放送大学の関係者の皆様の今後のますますのご健勝と、ご発展を記念し卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



## 卒業生からの言葉

出欠の返信にて、「卒業にあたっての感想」を記入していただいた方々を到着順で紹介します。

### 飯塚 裕子さん

今回4コース目の卒業です。放送大学の友達に励まされ、卒業出来た事、うれしく思っています。

### 岡本 克己さん

感謝！ 先憂後楽をモットーに！

### 中川 映子さん

仕事との両立は大変な事もありましたが卒業する事ができ、職員の皆様に感謝します。今後も学び続けたいと思います。

### 桑原 たえ子さん

無事に卒業する事が出来ました。支えてくれた家族、放送大学の先生方、学習センターの皆様ありがとうございました。

### 玉木 愛さん

第2子妊娠中の臨月で入学を決意。仕事・家事・育児そして学業。大学での勉強が生活の色んな面で役に立っている実感を得ながら必死に過ごした4年間でした。卒業認定通知を手にした瞬間の感動は一生忘れません。

### 堀江 寿彦さん

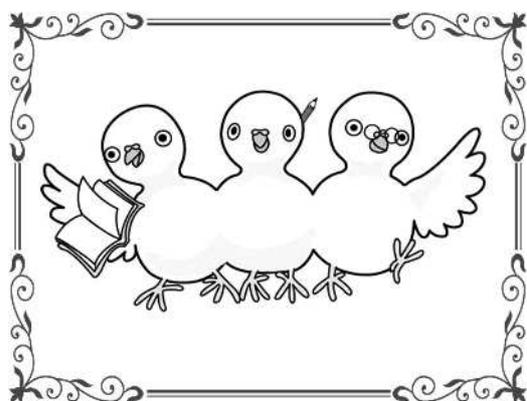
1回目 28年かかりました。2回目は4年で卒業できました。先生方、スタッフの皆様ののおかげです。もう1回入学することにしました。



# ◆ 入 学 者 の 集 い ◆

9月28日(日)、令和7年度第2学期の「入学者の集い」と「入学者ガイダンス(学友会との共催)」を行い、新入生13名の出席がありました。

「入学者の集い」には、来賓の島根県教育委員会社会教育課横地課長からのご挨拶と藤嶋学友会会長の歓迎のご挨拶、大谷客員教授、武田客員教授から激励の言葉をいただきました。入学者ガイダンス、オリエンテーション(学習の進め方等の説明)の後、学友会の藤嶋会長からのアドバイスや、先輩の体験談などを聞き、新入生はリラックスしながら、熱心にメモを取る姿もありました。新入生の皆様には、今後の大学生活が有意義なものになりますよう、職員一同支援いたします。



## 所 長 式 辞



島根学習センター所長 出 口 顕

長かった暑い夏がようやく終わろうとしている今日、放送大学島根学習センター令和7年度第2学期の「入学者の集い」を開催し、新しい入学者の方を迎えることができました。

入学者の皆さま、本日は誠にありがとうございます。

また、ご来賓の島根県教育委員会社会教育課長 横地隆鋭様にはお忙しい中、本集いにご臨席賜り、誠にありがとうございます。

令和6年の秋に評判になったドラマに「宙わたる教室」がありました。これは定時制夜間高校に通う生徒が顧問の教師に勧められて、理科実験室に火星の誕生を再現するという物語です。生い立ち・年齢・性別さらには国籍も異なる生徒たちが、互いの違いを違いとして認めつつも違いを乗り越えて共通の目標に向かって進む姿は、放送大学のこれまでの学生のみなさんの姿そのもののように映り、感銘を受けました。

「宙わたる教室」の原作者は伊与原新さんという方です。このドラマ放映後伊与原さんは「藍を継ぐ海」で直木賞を受賞されるのですが、作家になる前に地球惑星科学を専攻する研究者だった伊与原さんの小説の多く、例えば「月まで三キロ」や「八月の銀の雪」などは、悩みを抱える人たちが今ここを越えて広い世界に人を導く学問によって癒やされ再生する姿を描いています。「宙わたる教室」もその一つです。

今日ここに集まれた皆さんが放送大学で学ぶ目的は様々であると思います。保育士や臨床心理士などの資格取得を目指されている方、

社会人として自らをブラッシュアップするために学ばれている方、また、文字通り生涯学習の一環として学び続けられている方などです。4年以上在籍し、124単位以上を修得して学士の称号を目指す全科履修生、看護や教育関連の資格を目指し、それに必要な科目を学ぶ選科履修生、自分に関心のある特定の科目を学ぶ科目履修生など、学習スタイルも多様であると思います。

しかし、それと同時に、放送大学の多様な授業を学ぶことによって、皆さんが新しい世界へと解き放たれ、生き活きとした新たな自己を獲得されて、生まれ変わることを期待しています。そのためにも自分が希望するコース以外の分野の授業もたくさん履修してみてください。新たな出会いがあると思います。そのために学習センターは様々な支援を惜しみません。学習の進め方に困った場合は職員や客員教員の先生方に相談してみてください。きっとよいアドバイスが得られることと思います。

放送大学の学生になられた皆さんのこれからの毎日が充実したものになることを願って私の挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございます。



## ◆ 公開講演会 ◆

8月、9月に隠岐の島町と松江市、出雲市で公開講演会を開催しました。

### 「岩石と鉱物の世界「とっておき（隠岐）のヒスイの話」

島根大学名誉教授

高須 晃 氏

- ・日 時 6月28日（土） 14：00～15：30
- ・会 場 隠岐の島町図書館研修室
- ・参加者 24名

### 「村堂の民俗―集落にある仏堂と私たちの暮らし」

島根学習センター客員准教授・島根県立大学准教授

中野 洋平 氏

- ・日 時 8月10日（日） 10：30～12：00
- ・会 場 放送大学島根学習センター第1講義室
- ・参加者 8名

### 「南極の生物と生育環境」

放送大学島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授

大谷 修司 氏

- ・日 時 8月30日（土） 14：00～15：30
- ・会 場 出雲市役所くにびき大ホール
- ・参加者 41名

### 「子どもたちのことばの世界」

放送大学島根学習センター客員教授・島根大学名誉教授

村瀬 俊樹 氏

- ・日 時 9月7日（日） 14：00～15：30
- ・会 場 放送大学島根学習センター第1講義室
- ・参加者 11名



## ◆ 出口所長を囲んでの懇談会 ◆

1年次・2年次のうち、新規で入学された学生さんと、これまでにこの会にご参加いただいた学生さんを対象に、出口所長を囲んでの懇談会を9月6日（土）に開催しました。

この会は、放送大学に入学してから、新たに経験されたことや日頃感じられていること、また、学習に関する戸惑いや困りごとをお伺いしたいとの出口所長の思いで実施しています。

今回は3回目で、9名の方にご参加いただきました。

学習の進め方や状況、科目の選び方などに関する疑問や不安に対して語り合い、所長からアドバイスをするとともに、参加者どうしの情報交換の場としても活用していただきました。

また、参加された学生の皆さんが、将来の目標に向けて、あるいは有意義な生涯学習のために、真剣に取り組んでおられる姿を拝見することもできました。

今後も継続してこの会を実施する予定ですので、ぜひご参加ください!!



# 行事の案内

## ◆ 公開講演会 ◆

公開講演会を以下のとおり開催します。事前にお申し込みください。(☎0852-28-5500)

### ●「茶室の冒険：安来とパリ」

島根学習センター客員教授 千代 章一郎 氏

日 時：12月6日(土) 14:00~15:30

場 所：安来市 和鋼博物館

内 容：中国から渡ってきた茶の文化は、日本において茶室建築を生み出しました。インドでも、英国でも、茶室建築に相当するものではありません。茶室は移設することができます。同じ複製をつくることもできます。建築家は茶匠。そんな建築は世界中に日本にしかありません。近世に誕生したこの新しい建築は、宗教的な意味を帯びた茶の湯を芸術の空間に変えました。

その冒険的な精神は、江戸大名に受け継がれ、今日まで続いています。同じ形式、同じ儀礼の繰り返しではありません。いろいろな工夫があり、自在に茶室を建設しました。安来には清水寺の巖松軒や古門堂を建てた禅僧恵教和尚がいました。パリにはシャルロット・ペリアンがいました。ともに冒険的精神を持って茶室を建てました。

### ●「老化期の転倒予防について～高齢者から幸齢者への第一歩～」

兵庫学習センター所長 岡田 修一 氏

日 時：12月6日(土) 13:30~15:00

場 所：島根学習センター第1講義室

内 容：人は誰でも、歳をとっても自立したアクティブな生活を送りたいと思っています。しかし、老化期の転倒はそのような生活を送るうえでの大きな障害になります。本講演では、老化に伴ってなぜ転びやすくなるのか、また転ばないようにするにはどうすればよいのかについてお話しします。

## ◆ 修士論文発表会 ◆

大学院の研究指導を履修された方の「修士論文発表会」を以下のとおり開催します。参加ご希望の方は、事前にお申し込みください。(☎0852-28-5500)

日 時：12月6日(土) 15:10~16:00

場 所：島根学習センター第1講義室

- ・「職業音楽療法士のコンピテンシー ～コンピテンシー・モデルの開発と評価による検討～」  
(発表者) 金築 朋子さん
- ・「英語教育におけるタスク性を高めた言語活動の実践  
～高校英語教科書内の言語活動のタスク性分析とその応用～」  
(発表者) 遠藤 香菜子さん

☆ 「卒業研究」の履修を考えておられる方、ご自身の学習成果を発表することにご興味のある方など、ぜひご参加ください。

## ◆2026年4月入学に向けた「入学説明会・相談会」◆

2026年4月入学の出願受付期間は11/26~3/16の予定です。  
入学説明会・相談会のうち、12月~1月の予定は次のとおりです。

- 松江会場 12月20日(土) 10時~、14時~ 島根学習センター
- 出雲会場 1月10日(土) 13時~ 出雲中央図書館



# お知らせ

## ◆学習センターの閉所日2日制の導入について◆

島根学習センターは令和8年（2026年）4月から週2日閉所します。

放送大学では、このたび「原則として、すべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との方針を定め、各学習センターが令和7（2025）年4月以降、順次「週2日閉所」の導入を進めています。

島根学習センターでは、**令和8（2026）年4月から**閉所日2日制に移行し、現在の月曜日に加え、原則火曜日についても閉所日とさせていただきます。（ただし、島根学習センターの入居施設の閉館日である毎月第2水曜日は閉所とし、その前日の火曜日は開所といたします。）

そのほか、祝日の関係で火曜日を開所とする場合があります。

また、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆期間等には、月・火曜日以外でも臨時閉所する場合があります。翌年度のスケジュールが確定次第、Web サイトや窓口での掲示等でお知らせいたしますのでご確認ください。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ◆キャッシュレス決済について◆

システム WAKABA でお知らせしましたとおり、**2025年10月**から、証明書の発行、学生証再発行、文献複写や面接授業・ライブ Web 授業の追加登録にかかる費用の支払い方法が、「**キャッシュレス決済**」に変わります。



### ○ 利用できる決済方法（2025年10月現在）

#### 【学習センター窓口での決済】

- ・ クレジットカード（タッチ対応含む）  
VISA / MasterCard / JCB / AMEX / DINERS / DISCOVER / 銀聯
- ・ コード決済  
PayPay / au PAY / メルペイ / ゆうちょ Pay / WeChat Pay / Alipay / 銀聯（QR）/ d払い
- ・ 電子マネー  
iD / 楽天 Edy / WAON / nanaco / QUICPay+ / 交通系電子マネー（PiTaPa を除く）

#### 【ご自宅等での決済】（メール決済）

各種申請申込後に学習センターからお送りする決済用メール（「SMBC マルチペイメントサービス」）に記載の URL から、支払い方法を選んでお支払いください。（メールに記載された URL にアクセス → 支払い方法を選択 → 決済完了）なお、決済期限があります。期日までに手続きをお願いします。

- ・ クレジットカード  
VISA / MasterCard / JCB / AMEX / DINERS / DISCOVER
- ・ コード決済  
d払い / au PAY
- ・ コンビニ決済  
ローソン / ファミリーマート / ミニストップ / デイリーヤマザキ / セイコーマート

※ ご事情によりキャッシュレス決済の利用が難しい方には、適切な代替手段をご案内しますので、ご相談ください。

※ 「SMBC マルチペイメントサービス（system@p01.smbc-gp.co.jp）」からのメールが受信できるようにしてください。

※ 証明書の発行、学生証再発行、文献複写や面接授業・ライブ Web 授業の追加登録など窓口での手続きが難しい場合は、島根学習センター（☎0852 - 28 - 5500）までお問合せください。

## ◆ 「学生生活の葉」・「利用の手引き」 ◆

『学生生活の葉』は本部より送付したA5版の冊子です。皆さんが放送大学で学ぶにあたってその方法、留意事項、諸手続き等について記してあります。勉学を順調に進めるために、最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。また、巻末に各種届（願）出の様式があります。

『利用の手引』は、島根学習センターが発行している冊子です。島根学習センターの利用方法、学習方法、諸手続きの方法等について掲載していますのでご一読ください。



## ◆ システム WAKABA ◆

「利用の手引き」 P12～13  
 「学生生活の葉」 教養学部 P27～29、P113～115  
 大学院 P40～42、P113～115

放送大学では学修をサポートするため、インターネットを利用した各種システムを提供しています。このうち学生の皆さんがよく使われるのが「システムWAKABA」です。

システムWAKABAは放送大学ウェブサイトからログインできます。操作方法等、お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

また、放送大学 YouTube チャンネルから「システムWAKABAの使い方」の動画もご覧ください。



送大学 YouTube チャンネル  
「システムWAKABAの使い方」

### 放送大学ウェブサイト (https://www.ouj.ac.jp) からシステム WAKABA にログイン

●PC版

画面上部ヘッドメニュー→在学 (WAKABA)



●スマートフォン版

画面右上メニュー→在学生 (WAKABA)



放送大学

### 放送大学 認証システム

ログインIDおよびパスワードを入力してください

ログインID\*

パスワード\*

ログイン

【初回ログイン時について】  
初回ログイン時は、必ず初回パスワードの変更を行ってください。  
初期パスワードが変更されていない場合、ログインすることができません。

※パスワードの変更は、下記 URL から行えます。  
<https://sso.ouj.ac.jp/webadmin/LoginServlet>

※パスワードを変更してもログインできない場合には、パスワードを初期化する必要があります。下の【問い合わせについて】を確認の上、ご連絡ください。

※パスワードを初期化したにも関わらず、上述のURL(パスワード変更画面)で認証されない事象が報告されています。この場合には再発パスワードの初期化を行いますので、もう一度再認証を先までご連絡ください。お手数をおかけして申し訳ございませんが、よろしくお願いたします。

ログインIDは学生番号からハイフンを除いた 10 桁の数字です。パスワードは個人で設定したパスワードです。新入生のログインID・パスワード入学許可証に記載されています。初回ログイン時は、必ず、パスワード変更 URL から、パスワード変更を行ったのちログインしてください。  
 ※パスワードを初期化した場合の初回のログイン時も同様です。

パスワード設定条件

- ・8文字以上
- ・英字(大小は問わず)を1文字以上、数字を1文字以上含める
- ・ログイン名は含めない

## ◆通信指導◆ Web 提出

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P68～72 大学院 P73～77

通信指導は、放送授業科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に1回前半の一定の範囲で出題されます。提出型問題の解答を提出し合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。期限後の提出や未提出は、評価対象になりませんので注意してください。

### ●提出期間

2025年11月6日(木) 10:00～11月26日(水) 17:00



忘れずに!

※郵送による提出(郵送提出科目、単位認定試験を学習センターにしている場合)  
2025年11月12日(水)～11月26日(水) 必着

郵送提出科目・・・「市民自治の知識と実践(’21)」、「日本美術史の近代とその外部(’18)」、  
「文学批評への招待(’18)」、「空間と政治(’22)」、  
「現実と向き合う政治理論(’22)」(院)

## ◆Web 単位認定試験◆ Web 提出

参照 「学生生活の葉」 教養学部 P72～82 大学院 P77～86

単位認定試験は、Web 受験方式により実施します(郵送受験方式の科目を除く)。自宅等からインターネットを通じて、Web 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験前までに必ず体験版の操作を行ってください。

### ●提出期間

試験の出題形式により試験期間が異なりますのでご注意ください。

・択一式科目：2026年1月18日(日) 9:00～1月26日(月) 17:00

・記述式・併用式科目：2026年1月18日(日) 9:00～1月22日(木) 17:00

※郵送提出科目：2026年1月18日(日)～1月22日(木)、<必着>

郵送提出科目・・・「行政学講説(’24)」、「正多面体と素数(’21)」、  
「日本美術史の近代とその外部(’18)」、「量子科学(’19)」



### 単位認定試験体験会

操作体験会を下記の予定で実施します。事前に島根学習センター窓口またはメールでお申込みください。

- ・ 島根学習センター 第2講義室(4F)・・・各回 定員3名  
12月23日(火) 1月9日(金)  
11時～12時 15時～16時

# ◆ 島根大学への双方向「単位互換制度」説明会 ◆

単位互換制度とは、大学間で単位互換協定を締結し、他の大学等で修得した単位を所属する大学の修得した単位として認定する制度です。

島根学習センターでは、島根大学と双方向「単位互換協定」を締結しています。

## 1. 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている者で、単位互換校へ通学可能な学生を募集の対象とします。

- (1) 出願時、履修時及び単位認定時に全科履修生である者
- (2) 出願時に本学の在学年数が通算1年以上の者
- (3) 出願時に放送授業科目において30単位以上を修得している者

## 2. 履修できる授業科目

島根大学	
受講可能科目	原則として医学部を除く島根大学の全ての授業科目が受講可能です。
受講料	1単位当たり 5,500円（1科目2単位:11,000円）
単位互換校の所在地	【松江キャンパス】松江市西川津町 1060 番地 法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部 材料エネルギー学部、生物資源科学部

## 3. 出願から学習修了までのスケジュール

事項	日程		備考
	第1学期	第2学期	
出願相談 申請書類の提出	～1月中旬	～7月中旬	相談窓口・提出先： 島根学習センター
特別聴講学生 受入決定の通知	3月下旬	9月下旬	島根大学から本人 に通知
講義の履修	4月～9月	10月～翌年3月	場所：島根大学
単位認定試験の受験	（履修科目の担当教員の指示を受けてください）		場所：島根大学
成績通知	9月中旬	翌年3月中旬	島根大学から本人に 通知
単位の認定	10月上旬	翌年4月上旬	修得した単位を本学 の単位として認定

## 4. 2026年度第1学期単位互換制度の説明会を下記のとおり開催します。

日時	2025年12月4日（木） 14:00～15:00
場所	島根学習センター 第2講義室

・要予約 島根学習センター Tel 0852-28-5500 ☒ shimane-sc@ouj.ac.jp



## ◆ 学 習 相 談 の お 知 ら せ ◆

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、客員教員等による対面またはオンライン方式で学習相談を実施します。学習相談表に相談内容を記入し、相談日の3日前までにご提出ください。（電話、メールでの申込みの場合は希望日時、相談内容等をお伝えください。）

■ 相談時間 1人1時間以内

■ 学習相談表は窓口、島根学習センターウェブサイトにてWordとPDFファイルを用意していますのでご活用ください。



教 員 名 (専門分野)	学 習 相 談 日	
安 齋 有 紀 (フランス語学)	10月	9日(木) 9:30~12:30
		23日(木) 9:30~12:30
	11月	6日(木) 9:30~12:30
		20日(木) 9:30~12:30
	12月	4日(木) 9:30~12:30
		18日(木) 9:30~12:30
大 谷 修 司 (植物分類学)	10月	15日(水) 9:30~12:30
		29日(水) 9:30~12:30
	11月	19日(水) 9:30~12:30
		26日(水) 9:30~12:30
	12月	17日(水) 9:30~12:30
		24日(水) 9:30~12:30
千 代 章 一 郎 (建築論)	10月	7日(火) 9:30~12:30
	11月	4日(火) 9:30~12:30
	12月	2日(火) 9:30~12:30
武 田 信 明 (日本近代文学)	10月	15日(水) 13:00~16:00
		29日(水) 13:00~16:00
	11月	13日(木) 13:00~16:00
		26日(水) 13:00~16:00
	12月	11日(木) 13:00~16:00
		24日(水) 13:00~16:00
中 野 洋 平 (民俗学)	10月	10日(金) 9:30~12:30
		24日(金) 9:30~12:30
	11月	7日(金) 9:30~12:30
		14日(金) 9:30~12:30
	12月	5日(金) 9:30~12:30
		12日(金) 9:30~12:30
村 瀬 俊 樹 (心理学)	10月	18日(土) 13:30~16:30
	11月	7日(金) 9:40~12:40
		14日(金) 13:30~16:30
	12月	5日(金) 9:40~12:40
		12日(金) 13:30~16:30
	出 口 顕 (文化人類学)	随時(出勤日)

【問合せ】 島根学習センター ☎ 0852-28-5500 FAX 0852-28-1800  
 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp

# ◆ 面接授業 ◆

## 2025年度第2学期 島根学習センター開設の面接授業一覧

△印は追加登録ができない科目です。  
◆は、BYOD 授業です。

授業実施日	科目区分・ナンバリング	定員	科目名	注	担当講師名
10月18日(土) 10月19日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	20	実習で学ぶ食品学の最新動向	△ ※1	鶴永 陽子 (島根大学教授)
10月25日(土) 10月26日(日)	基盤：外国語 110(初級)	25	韓国の文化に触れてみよう!	△	林 河運 (島根大学特任講師)
10月25日(土) 10月26日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	20	事実から読む作曲家の音楽思考	△	河添 達也 (島根大学教授)
11月 1日(土) 11月 2日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	20	心理カウンセリング基礎演習		中島 正雄 (放送大学教授)
11月 8日(土) 11月 9日(日)	専門：情報 320(中級)	15	初歩からの機械学習	◆	小俣 光司 (島根大学特任教授)
11月15日(土) 11月16日(日)	専門：生活と福祉 320(中級)	30	視覚で繙く障害の特性理解と支援		内山 仁志 (島根県立大学准教授)
11月15日(土) 11月16日(日)	専門：人間と文化 310(初級)	40	朝鮮半島の考古学 (先史・古代)		平郡 達哉 (島根大学教授)
11月29日(土) 11月30日(日)	専門：心理と教育 320(中級)	20	心理学実験2	◆	村瀬 俊樹 (島根学習センター客員教授)
11月29日(土) 11月30日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	30	江戸時代の松江		小林 准士 (島根大学教授)
12月13日(土) 12月14日(日)	導入：社会と産業 220(中級)	40	はじめて学ぶ社会学の世界		猿渡 壮 (島根大学准教授)
12月13日(土) 12月14日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	36	ジェンダー論	※2	中村 圭 (島根県立大学教授)
12月20日(土) 12月21日(日)	専門：社会と産業 320(中級)	40	くらしのなかの行政法		永松 正則 (島根大学准教授)
1月10日(土) 1月11日(日)	専門：人間と文化 320(中級)	40	天変地異の文化史	※3	杉 岳志 (島根県立大学准教授)

※1：いきいきプラザ島根(松江市)

※2：いわみーる(浜田市)

※3：公開授業

## ◆面接授業の追加登録について◆

島根学習センターで開設する2025年度第2学期面接授業追加登録方法は、以下の通りです。

### ■面接授業の追加登録方法（島根学習センター開設科目について）

#### 1. 空席発表：10月17日（金）15時

空席のある科目と人数をシステムWAKABAで発表

#### 2. 事前申請受付：10月17日（金）15時～10月22日（水）13時10分

##### ◆島根学習センターのウェブサイトまたは窓口で、面接授業の追加登録を申請

##### A. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

##### B. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入し、学習センター窓口へ提出してください。

※追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は10月22日（水）午前必着です。

昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、ウェブサイトからの申請を推奨します。

##### ◆抽選：10月23日（木）

キャンパスメール（学生番号@campus.ouj.ac.jp）に抽選結果をお知らせします。

★**当選の連絡（キャンパスメール）が来たら、島根学習センターに授業料納付**

##### ◆授業料納入：10月30日（木）（必着）

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料を納入してください。

（1）メール型決済での納入

（2）学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。

#### 3. 先着申請受付：10月23日（木）15時以降

事前申請で満席とならなかった場合、先着順で申込を受付けます。

（原則、開催日の7日前までですが、科目ごとに受付期限日が決まっていますので、ご確認の上お申し込みください）

##### A. ウェブサイトからの申請

島根学習センターウェブサイトの「お知らせ」欄から、入力フォームへアクセスし、必要事項を入力してください。

##### B. 学習センター窓口での申請

「追加登録申請書」に必要事項をご記入し、学習センター窓口へ提出してください。

##### ◆授業料納入

以下の（1）、（2）いずれかの方法で授業料を納入してください。

（1）メール型決済での納入

（2）学習センター窓口での納入

※（1）、（2）以外の方法を希望される場合は学習センターまでご相談ください。

窓口受付時間【月・祝日を除く】9時30分～17時30分

電話：0852-28-5500

## ◆ ゼミのお知らせ ◆



島根学習センター客員教員によるゼミ（学習会）を開催します。ゼミとは、客員教員が、専門分野のテーマに沿って開講する少人数・双方向型の学習会です。講義を受講するだけでなく、教材をもとに質疑応答などを交えながら学習を深めていきます。学生同士、学生と先生方とのディスカッション等により、コミュニケーション能力（発表および議論の仕方やマナー）、理解力、考え方なども身に付けることができます。卒業研究の履修を希望する学生にはおすすめです。第1回目はオリエンテーションとなりますので、まだゼミに参加したことがない方もお気軽にご参加いただき、内容などを確認して申し込みをすることも出来ます。みなさまのご参加をお待ちしています。

- ・対象者：島根学習センター所属の学生（学生の種類は問いません。ただし休学者は除く）
- ・会場：島根学習センター講義室等
- ・受講料：無料 ・単位取得：なし
- ・申込〆切：各ゼミの第2回開催日前日まで  
（申込〆切後も定員になるまで随時募集）
- ・申込方法：電話、メールにてお申込みください。  
TEL 0852-28-5500/ ✉shimane-sc@ouj.ac.jp



### 言語や文化を対照する

安齋有紀 客員准教授

このゼミでは、フランス語と日本語の表現を中心に、様々な言語を「対照」することで、それぞれの言語の特徴や言語と文化の関係について考えます。そこから、外国語を学ぶヒントや、言語文化圏の特徴について探っていきます。フランス語の知識は不要です。受講生には、これまで外国語を学ぶ中で疑問に思ったこと、文化の違いで気になったことなど、ご自身の疑問について発表していただきます。関連する文献の紹介も大歓迎です。

●木曜日 10:00~11:30

10/30、11/27、12/25、1/29、2/19（定員5~6名）

### 建築の歴史

千代章一郎 客員教授

現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。それは人間の技術について学ぶこと、人間の社会について学ぶこと、そして人間自身について学ぶことと深くつながっています。

●火曜日 9:30~11:00

10/28、11/11、12/9、1/6、2/24、3/10（定員10名）

### 自然から学ぶ：秋から冬の身近な植物を観察しよう 大谷修司 客員教授

毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや実体顕微鏡を用いて精緻なつくりを観察しましょう。春から夏は花も多く植物に目が行きますが、秋から冬に実施される2学期も様々な植物の姿を観察できます。秋から冬に花が咲く樹木があり、どんぐりなどの果実ができ、寒い冬を越すために落葉など冬支度を始めます。どんぐりの成る樹木を探したり、冬芽の断面を作成したり、普段と違う角度から植物観察を実施しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。

※ゼミ参加日の前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。(保険期間 6 年/100 円)

●水曜日 10:30~12:00

10/22、11/5、12/3、1/7、2/4、3/4 (定員 10名)

### 小説を読む楽しみ—尾崎翠の世界 武田信明 客員教授

小説を半年1冊のペースで読んでいきます。今期は尾崎翠「第七官界彷徨」(河出文庫)を皆さんと一緒に読み進めていきます。テキストは各自用意しておいてください。新本、古本あるいは図書館で借りるなど何でも結構です。尾崎翠は鳥取出身。昭和初期にデビューしましたが当初日の目を見ず、1970年代になって脚光を浴びました。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして、小説には「読み方」のポイント(方法)がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。意見交換の他、簡単な発表(レジュメ)もしていただきます。

●水曜日 13:30~15:00

10/22、11/19、12/17、1/28、2/25、3/18 (定員 10名)

### フィールドから学ぶ民俗学：日本のまつりを読み解く 中野洋平 客員准教授

日本各地で四季折々のまつりが営まれています。ゼミでは毎回異なるテーマで、私たちの暮らしに身近なまつりを取り上げ、映像や文献資料によりながら読み解いていきます。いまのところ、テーマは①神社祭祀と年齢集団、②山・鉦・屋台行事、③風流踊りと祭礼、④寺院の修正会、⑤大地の神々を祀る、⑥来訪神行事を予定しています。

●木曜日 13:30~15:00

10/30、11/20、12/25、1/29、2/19、3/12 (定員 10名)

### 実験・調査を通して知る心の仕組み 村瀬俊樹 客員教授

心理学が対象とする「心」には、感情的側面だけではなく、認知的側面、行動的側面が含まれます。「心」は人による違いもありますが、多くの人に共通する法則性もあります。様々な実験や調査を工夫して、その法則性を明らかにしようとするのが心理学の研究です。このゼミでは、認知・行動面を中心に、感情面を含めて、実験や調査で得られたデータをもとに、多くの人に共通する「心」の法則性について考えます。参加者の皆様の関心を教員の守備範囲とすり合わせて決定したテーマ、または、教員が選んだ発達心理学・社会心理学の文献から参加者の皆様が興味を持たれた章を発表していただき、他の参加者の方々との話し合いを行っていきたいと思います。

●水曜日 10:30~12:00

10/29、11/26、12/24、1/28、2/25、3/25 (定員 10名)



所長および客員教員による推薦図書を図書・視聴室に配架しました。閲覧の際は図書・視聴室内にてご利用ください。

- 非認知能力 概念・測定と教育の可能性 小塩真司 編著/北大路書房
- 偏見や差別はなぜ起こる？ 北村英哉・唐沢穰 編/ちとせプレス
- これからの幸福について 文化的幸福観のすすめ 内田由紀子 著/新曜社
- ルールを守る心 逸脱と迷惑の社会心理学 北折充隆 著/サイエンス社
- ステレオタイプの社会心理学 偏見の解消に向けて 上瀬由美子 著/ //
- チームワークの心理学 持続可能性の高い集団づくりを目指して 山口裕幸 著/ //
- 紛争と葛藤の心理学 人はなぜ争い、どう和解するのか 大淵慶一 著/ //
- 存在脅威管理理論への誘い 人は死の運命にいかに向かうのか 脇本竜太郎 著/ //
- ポジティブなこころの科学 人と社会のよりよい関りをめざして 堀毛一也 著/ //
- ハナシ語りの民族誌 川島秀一 著/勉誠社
- 傍流の巨人 渋沢敬三 民俗と実業の昭和史 畑中章宏 著/現代書館
- 形象・偶像・仮面 コレージュ・ド・フランス宗教人類学講義  
ジャン=ピエール・ヴェルナン/みすず書房

◆ 情 報 募 集 ( 地 域 貢 献 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 ) ◆

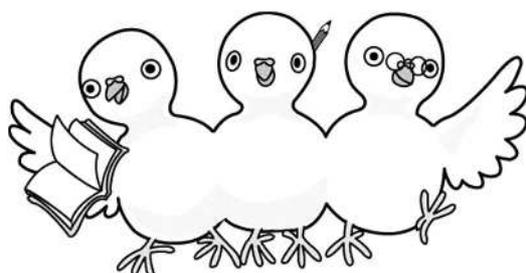
ボランティア活動をなさっている皆さん、こういった活動をなさっていますか？

放送大学では、学生同士の交流や、より活発な活動に役立ててもらおうと、ホームページに全国各地で地域貢献ボランティア活動をする学生の情報を紹介しています。

自分が行う活動を放送大学ホームページで紹介してみようと思われる方は、下記連絡先までお知らせください。折り返しご連絡の上、調査シートをお送りします。

連絡先：電 話 0852-28-5500      メール shimane-sc@ouj.ac.jp

◎放送大学WEB サイト ー地域貢献活動の取り組みについてー地域貢献活動をする学生の紹介  
<https://www.ouj.ac.jp/pj/member.html>



## ◆西部地域にお住まいの学生のみなさまへ（浜田・益田コーナー）◆

島根県西部地域に居住する学生も容易に放送教材の視聴、貸出が利用できるように浜田市と益田市に再視聴施設があります。お近くの方はご利用ください。なお、利用時間、利用内容については「利用の手引き」（18頁、19頁）をご覧ください。

### 浜田コーナー

島根県立西部社会教育研修センター内  
（いわみーる3階）



### 益田コーナー

益田市立図書館内  
（カウンターでお問い合わせください。）



★全ての科目を配架してはおりません。浜田・益田コーナーでの視聴を希望する場合は、履修している授業科目の放送教材が配架されているかを、各コーナーまでお問合せください。ない場合は配架を依頼するかパソコンで視聴してください。

★西部履修相談について（予告）・・・2月12日（木）（益田）、13日（金）（浜田）で行う予定です。詳しい日時は次号の『だんだん』でお知らせいたします。

## 島根同窓会通信（47）

2025年9月現在 会員数70名

### 第28回連合会総会に参加しました。

6月7日（土）～8日（日）放送大学本部3F図書室において、第28回連合会総会が開催され、島根からは石川副会長が参加しました。

2024年度活動報告に続き2025年度活動計画の討議が行われ了承されました。



新会長には須藤柝木同窓会会長が選出されました。

続いて、放送大学同窓会連合会創立35周年記念行事が行われました。岩永放送大学長より祝辞をいただき、その後歴代の連合会会長へ感謝状の贈呈が行われました。

記念行事の後は、大学本部前の広場にて、記念に植樹した「<sup>いちよう</sup>公孫樹」の木の前で記念撮影を行いました。



### 今後の同窓会活動予定

#### 1. 防災部の活動について

この度の第13回総会にて、新たに防災部が発足しました。毎年、各地で起きるさまざまな災害に対してどのような予防対策ができるか、また発生したときの対応はどうするかなど、同窓会として何ができるか考えていきたいと思っております。活動の詳細はホームページ、会報たたらで、別途お知らせします。学生の方も歓迎します。

#### 2. AI講演会の開催予定について

同窓会員からの要望もあり、昨今話題のAIについての講演会を計画中です。現在、内容を検討中です。実施時期は11月末～12月初めを予定しております。正式に日程が決定しましたら、こちらも、詳細はホームページ等でご案内します。

#### 3. 文化部よりコンニャク作り体験会の開催について

文化部からは、新年に向けて今年もコンニャク作り体験会のお知らせです。実施時期は12月に予定します。慌ただしい時期ですが、ちょっと一休み、みんなで、わいわいコンニャク作りなどいかがでしょうか？詳細は別途案内します。

# 学友会だより

第 49 号  
島根学習センター学友会  
発行者 藤嶋教彰  
2025 年 10 月発行

## 2025 年度第 2 学期 入学者の集い・ガイダンス 実施報告

会長 藤嶋 教彰

2025年9月28日(日)に島根学習センター主催、学友会共催で入学者の集い、および入学者ガイダンスを実施しました。入学者の集いでは新入生への歓迎挨拶、入学者ガイダンスでは先輩からのアドバイスとして放送大学生活を充実させるための知識やコツについての説明をしました。今回は歓迎挨拶で話した2つのトピックについて書きたいと思います。

1つめのトピックとして、「タイパ」を話題の1つとしながら放送大学の特徴と世の中の変化に対応するために必要なことについて話しました。タイパはタイムパフォーマンスの略称で、かけた時間に対して得られる効果や成果の大きさのことをいいます。多くの年代が多忙を極める現代において短期的には必要な考え方であり、私自身も毎日考えて過ごしていると思います。しかし、中長期的には危険性をはらんでいます。世の中が複雑化したことや、単純な知的作業をAIで自動化できるようになったことで、人には複合的な考えや創造的な発想力を持つことが求められるようになっていきます。これらの能力は現時点で必要なことだけを覚えたり、使えるようにするタイパのよい学習では養うことができません。

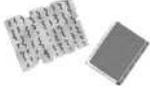
「今は必要でない」ことを含めて世の中の多種多様なことを学んだり、一生懸命考える経験を沢山することが必要になります。放送大学は各コースにおいて様々なことを学習できます。加えて、自分が所属していないコースでも取り放題です。そのため、極めて多種多様な知識を学ぶことができ、複合的知識の習得にはもってこいの環境が整っています。様々なことがわかってくると、様々な事柄の共通点や現状の知識だけではわからないことが見えてきます。それが発想力強化の種となります。

もう1つのトピックは余暇の充実についてです。世の中には非常に多くのエンターテインメントがあふれている他、日々過ごしているときに見る風景にも歴史が感じられる箇所がいくつもあります。しかし、その内容や面白く見るための知識基盤がなければ、非常に狭い範囲でしか楽しむことができません。知識を持ち、広い視野を手に入れることで興味を持てる範囲が広がります。それにより、たくさんの面白いことを享受できるようになります。個人的にお勧めなのは実習を伴う面接授業を受けることです。私はこれまで城の歴史や構造、寺や神社の成り立ち、地質構造、柿の科学など、様々な面接授業を受けてきました。その結果、松江城天守だけでなく石垣などにも興味を持ち、よく見るようになりました。寺に行ったときには、装飾の豪華さを見ていつ頃に建てられた寺だろうかと思いをはせるようになりました。柿は元々あまり食べなかったのですが、授業を受けることで柿の面白さや美味しさの秘密を知り、購買意欲が高まりました。それ以降、毎年買うようになり、柿を楽しめるようになりました。

これらのトピックを選んだのは昨今の風潮である「必要なことだけする」という流れに危機感があるためです。自分の周りが特にそうなっているだけなのかもしれませんが、自分を含めて様々な人が今は必要でないことに対して行動が遅くなっている気がします。理由は様々あるでしょう。労働環境の悪化や度重なる値上げによる私生活圧迫への対応など、余裕が削られていることも一因かもしれません。正直なところ、私も公私問わず様々な面で余裕がなくなってきており、科目履修が年々できにくくなってきています。とはいえ、今後のためには学び続けること、多種多様なことを知ることが必要になってきます。今回の話は自戒の意味も込めて話しました。

さて、学びの機会といえば、10月18日(土)実施の学生研修旅行も重要な行事となります。参加申し込みをされた皆様にとって、良い学びとなることを期待しております。

## ○●○学生サークル紹介○●○

<p style="text-align: center;"><b>学友会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●活動:随時</li> <li>●年会費 1,000円 (2学期からの新規入会は500円)</li> <li>●代表者:藤嶋</li> </ul> 	<p>学生研修旅行(センターとの共催)、松江散策ツアー、学友会だよりの発行、入学者ガイダンスへの参加など学習に役立つことや学生間の交流を行っています。また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みも行っています。</p>
<p style="text-align: center;"><b>古文書を読む会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月1回 第3水曜日 13:00~15:30</li> <li>●会費:月額500円で6ヶ月分前払い</li> <li>●代表者:竹下</li> </ul> <p style="text-align: center;">※学外者も入会可</p> 	<p>古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。毎回講師を招き、江戸時代に書かれた古文書の原文を読み下すだけでなく、当時の社会構造や武家社会の状況、村に残されていた村方文書についても解説します。さらに時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。特に松江藩郡奉行文書(全国で唯一訴状から裁きが終わるまでの文書)は身近な地名や人物が判明して、興味が一段と湧いてきます。</p>
<p style="text-align: center;"><b>だんだんサロン・表現の会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月1回 主に第3木曜日 13:30~16:00</li> <li>●会費:無料</li> <li>●代表者:知野見</li> </ul> <p style="text-align: center;">※学外者も入会可</p> 	<p>表現活動(話す・書く)を通して、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的として以下の活動を行っています。</p> <p>(おしゃべり会)自由な話し合いを通して、話しことばの楽しさを学ぶ (作文の時間)作文を読みあうことで、文章表現を学ぶ</p> <p>※前半は「おしゃべり会」後半は、「作文の時間」です。どちらかだけの参加もできます。</p>

サークルへの入会希望、質問等は島根学習センターまでお問い合わせください。  
追ってサークル代表者よりご連絡いたします。

【問合せ】島根学習センター ☎ 0852-28-5500 ✉ shimane-sc@ouj.ac.jp

### 学生証の受け取りがまだの方、有効期限が切れた方

以下の方法で  
交付しています。

【郵送】①~③を学習センターへ郵送してください。

- ①郵送による学生証交付願
- ②返信用封筒(宛先を明記のうえ、特定記録郵便320円分の切手を貼付)
- ③在学の方 →①、②と有効期限切れの学生証  
入学した方 →①、②と入学許可書の写しと顔写真付きの公的な身分証明書(運転免許証等)の写し



【窓口】上記③を持参

✕ キリトリ ✕

### 郵送による学生証交付願

学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

学生の種類 (○で囲んでください)

\_\_\_\_\_ 全科 選科 科目 修士全科 修士選科 修士科目 博士全科 特別聴講 集中・司書 \_\_\_\_\_

# スケジュール

【ゼ】ゼミ 【相】学習相談 ●面接授業

10月		
日	曜	行事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	公開講演会（浜田）
5	日	公開講演会（益田）
6	月	閉所日
7	火	【相】千代
8	水	図書視聴室閉室
9	木	【相】安齋
10	金	【ゼ】中野
11	土	
12	日	
13	月	閉所日
14	火	
15	水	【相】大谷 【相】武田
16	木	
17	金	
18	土	【相】村瀬 学生研修旅行 ●実習で学ぶ食品学 の最新動向
19	日	
20	月	閉所日
21	火	
22	水	【ゼ】大谷 【ゼ】武田
23	木	【相】安齋
24	金	【相】中野
25	土	●韓国の文化に触れてみよう！ ●事実から読む作曲家の音楽思考
26	日	
27	月	閉所日
28	火	【ゼ】千代
29	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷 【相】武田
30	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野
31	金	

11月		
日	曜	行事
1	土	公開講演会（出雲） ●心理カウンセリング基礎演習
2	日	
3	月	閉所日
4	火	【相】千代
5	水	【ゼ】大谷
6	木	【相】安齋
7	金	【相】中野 【相】村瀬
8	土	
9	日	●初歩からの機械学習
10	月	閉所日
11	火	【ゼ】千代
12	水	図書視聴室閉室
13	木	【相】武田
14	金	【相】中野 【相】村瀬
15	土	●視覚で繙く障害の特性理解と支援 ●朝鮮半島の考古学（先史・古代）
16	日	
17	月	閉所日
18	火	
19	水	【相】大谷 【ゼ】武田
20	木	【相】安齋 【ゼ】中野
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	閉所日
25	火	
26	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷 【相】武田
27	木	【ゼ】安齋
28	金	
29	土	●心理学実験2
30	日	●江戸時代の松江

12月		
日	曜	行事
1	月	閉所日
2	火	【相】千代
3	水	【ゼ】大谷
4	木	【相】安齋
5	金	【相】中野 【相】村瀬
6	土	公開講演会（安来） 公開講演会・修士論文発表会（松江）
7	日	
8	月	閉所日
9	火	【ゼ】千代
10	水	図書視聴室閉室
11	木	【相】武田
12	金	【相】中野 【相】村瀬
13	土	●はじめて学ぶ社会学の世界 ●ジェンダー論
14	日	
15	月	閉所日
16	火	
17	水	【相】大谷 【ゼ】武田
18	木	【相】安齋
19	金	
20	土	●くらしのなかの行政法
21	日	
22	月	閉所日
23	火	
24	水	【ゼ】村瀬 【相】大谷 【相】武田
25	木	【ゼ】安齋 【ゼ】中野
26	金	
27	土	
28	日	閉所日
29	月	閉所日
30	火	閉所日
31	水	閉所日



閉所時間 9:30~17:30

新入学生のみなさま、ご入学おめでとうございます。新入学、出会いの季節、というと日本国内では4月を思い浮かべることが多いですが、年2回：10月にも新たな出会いの機会があるのが放送大学のいいところだなあ、と思っています。新たな学びの場として、また、継続的な学びの場として放送大学を選んでいただいております。面接授業やゼミ、学生研修旅行など、学生さん同士の出会いの機会も多くありますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。（浜田）